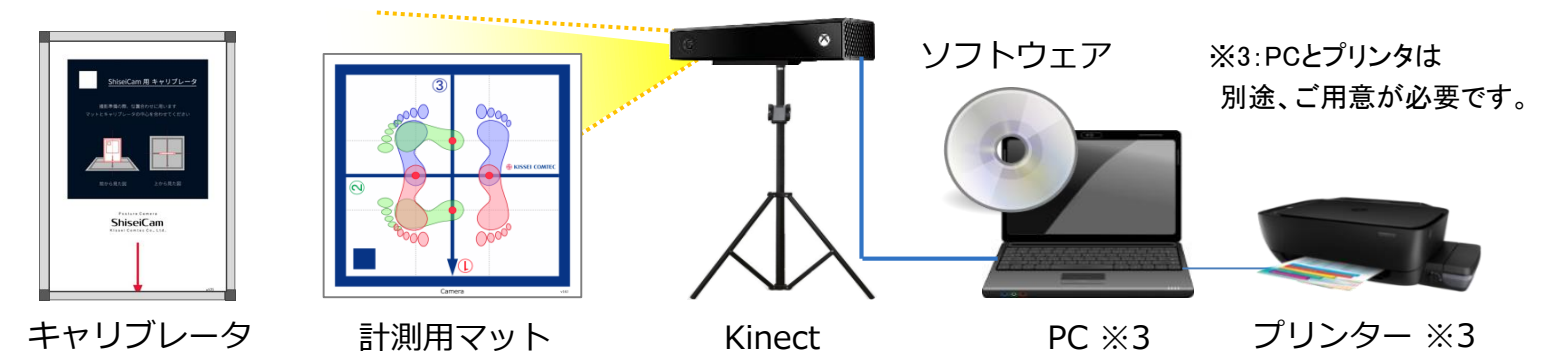


システム構成



製品仕様

■ 計測に使用するパソコンの要件

OS	Windows10以上 64bit	CPU	Corei7 3.1GHz以上
メモリ	4GB以上	USBバージョン	USB3.0
USBホストコントローラ	intelまたはRenesas	グラフィック	DirectX11対応グラフィックカード

※お客様でPCを御用意される場合には、必ず一度弊社までご相談ください。 Kinectが正常に動作しない場合があります。

■ レポートに出力される項目

姿勢チャート	首の傾き（左右）、肩の傾き（左右）、骨盤の傾き（左右）、体幹の傾き（左右）、右膝関節角（立位）、左膝関節角（立位）、右膝関節角（屈位）、左膝関節角（屈位）、肩前後位置、首の傾き（前後）、体幹の傾き（前後）、骨盤の傾き（前後）、肩のねじれ、骨盤のねじれ
せなかの傾向	猫背、反り腰、フラットバック、ニュートラルの4種類に分類（脊柱ラインの表示と対策アドバイス付き）
筋肉の傾向	25箇所の筋のうち、短縮していると推定される箇所
推奨ストレッチ	19種類のストレッチから、個々の体の歪みに最適なストレッチをご提案

■ 計測条件

服装条件	できるだけ体にフィットした服装で撮影を行ってください。 次の服装では、正しく計測ができない可能性があります。 ・ 赤外光を吸収または反射する素材の服装（黒い服や皮革製品、反射材のついた服 等） ・ 関節位置が特定し難いゆとりのある服装（スカート、ワイドパンツ、コート 等）
使用限界	・ 身長は100 cm以上を推奨としています。 ・ 上体を起こして直立できない方（杖や介助が必要など）は計測できません。 ・ 日光が差し込む場所では計測ができない場合があります。

ShiseiCamは、健康科学大学中村崇臨床教授と共同開発したシステムです。

 ShiseiCamは、利用者に対する安全性と品質を確保するために、ヘルスソフトウェア推進協議会のGHS開発ガイドラインに準拠して開発されています。

 **キッセイコムテック株式会社**
公共・医療ソリューション事業部
〒390-1293 長野県松本市和田4010-10
TEL: 0263-40-1122 FAX: 0263-48-1284
E-mail: motion@comtec.kicnet.co.jp
URL: <https://www.kicnet.co.jp/>

●このカタログの内容は、改良のために予告なく仕様・デザインを変更することがあります。 2020.04

3次元分析
3D

姿勢計測



姿勢の未来を創る

姿勢計測システム **ShiseiCam** (シセイカム)

他所との差別化、新規顧客獲得、顧客の囲い込み、サービス向上、収益アップに！

整骨院・接骨院

企業健診

整体・ヨガスタジオ

小・中学校（運動器検診）

スポーツジム
フィットネスジム

美容・アンチエイジング

介護予防・健康増進施設

病院・クリニック（健診・地域活動）

健康イベント・市民イベント

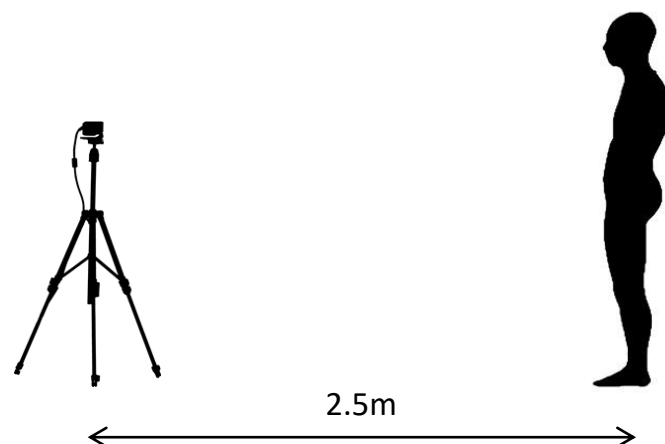
 **KISSEI COMTEC**

Microsoft社の3Dセンサー「Kinect」を用いて、体の歪みやねじれを短時間で簡単に計測することのできるシステムです。

point
1

「準備」が簡単

幅2m×奥行3m程のスペースにカメラと計測用マットを置き、ソフト上のマット検出ボタンを押せば計測準備完了！※1
カメラが人を自動認識するので、対象者の体には何も目印をつける必要がありません。



point
2

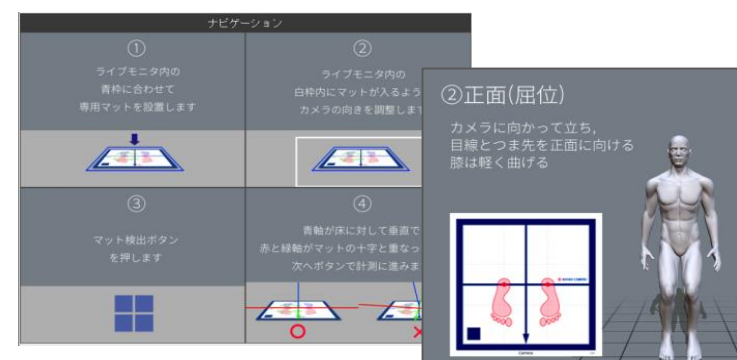
「計測」が簡単

4つのポーズ（正面、屈位、側面、背面）を撮影するだけなので、計測は短時間で終了します。※2
ナビゲーション付きの画面でソフトの操作も迷いません。

1 カメラの前に立つ → 2 4つのポーズを撮影 → 3 結果を確認



体の歪みや筋肉のバランス等がレポートされます。



操作のナビゲーション



分かりやすい操作ボタン

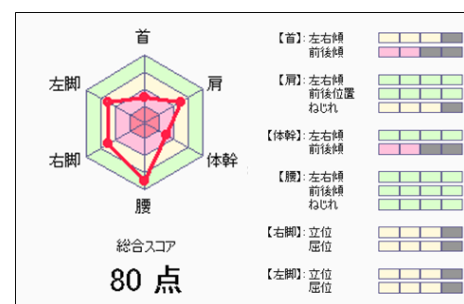
point
3

「フィードバック」が簡単

シンプルで3次元分析ならではの分かりやすいレポートを出力！
撮影が終わったその場で結果をフィードバックできます。

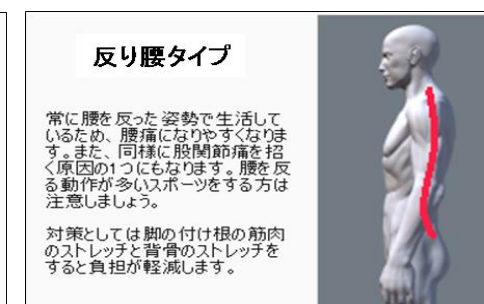
■姿勢チャート

14項目の指標を基に姿勢をスコア化



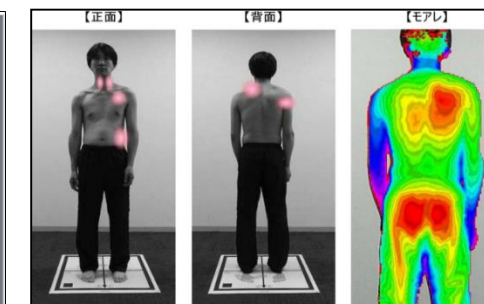
■せなかの傾向

猫背・反り腰・フラットバック・ニュートラルに分類



■筋肉の傾向・モアレ表示

姿勢から推定される筋肉の緊張や背中の起伏状態を可視化



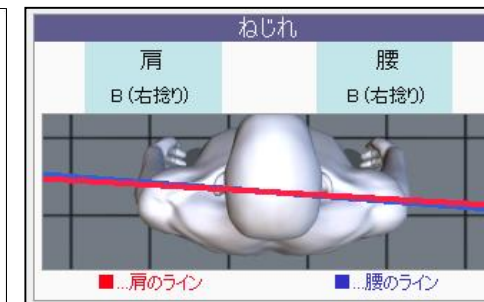
■推奨ストレッチ

個々のゆがみに合わせたストレッチを提案



■体のねじれ

肩と腰のねじれを上方からの図で可視化



自分の姿勢の状態を認識させ、ストレッチの実践や正しい姿勢を意識した生活から姿勢の改善を促します。

次の条件下では、正しく計測ができない可能性があります。



※1: マットのすぐ横や後ろに壁がある環境では、マットを自動検出できない場合があります。その場合、「キャリブレーション」を用いて三次元空間の定義を行います。

※2: 服装や計測環境によってはカメラが人として認識せずに撮影ができない場合があります。また、マーカを用いない計測のため、想定しない結果が現われることがあります。